

事業概要票

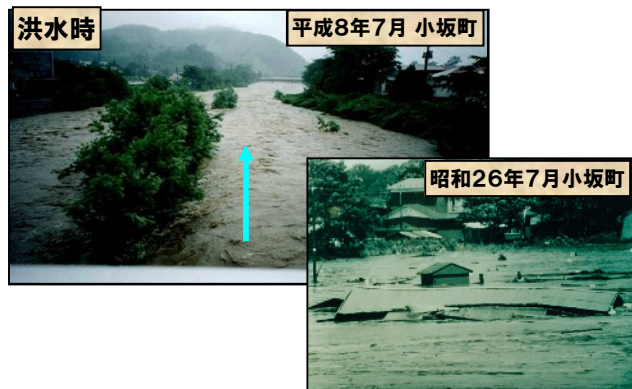
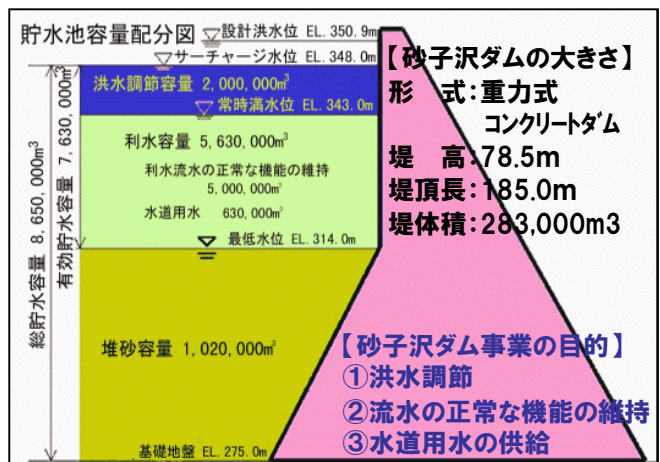
事例NO. 42（平成21年度発表）

事例キーワード

リサイクル・環境調査と保全
・広報活動

| | | | |
|---------|---|---|------------------------|
| 事業名 | | 小坂川総合開発事業 | リサイクル・環境調査と保全 ・広報活動 |
| 事業担当機関 | | 砂子沢ダム建設事務所 | |
| 事業期間 | | 平成4年度～平成22年度 | |
| 実施場所 | | 小坂町小坂字向地内 | |
| 事業概要 | 全体事業費 | 21,500百万円 | |
| | 工事概要 | 重力式コンクリートダム、ダム高78.5m、堤頂長185.0m、堤体積283,000m ³ | |
| | 事業の目的 | 米代川支川の小坂川は、過去に豪雨による河川の氾濫や濁水による上水道の断水などにより、人々の生活へ大きな影響を与えてきた。砂子沢ダムは洪水時の流量調節、河川環境の維持や水道用水の確保を目的として事業を進めている。 | |
| 環境配慮の内容 | <ul style="list-style-type: none">・工事の際に発生する排水対策として、濁水処理設備を設け水質管理を徹底した。・濁水処理の過程で残った脱水ケーキをセメント系固化剤による処理を行い、路床盛土に再利用した。・伐木の売却処分の際に残った伐根や枝葉などをチップ化・堆肥化し、緑化基盤材や土壌改良材などに再利用した。・現場周辺のクリーンアップやゴミ分別の徹底など大小問わず日頃から環境活動に取り組んできた。・ダム建設による生態系への影響調査について、地元学識経験者・専門家から構成される環境検討会を実施し、調査手法や保全措置について意見を仰ぐ場を設けた。・環境配慮の取り組みなどを紹介する場として、ダムの学習会や現場見学会、地元のイベントに「砂子沢ダム広報館」を出展するなど広報活動を積極的に実施してきた。 | | |
| 施工後の状況 | <ul style="list-style-type: none">・濁水処理設備によって各種基準（pH・濁度）を満たすよう適切に処理することができた。・脱水ケーキを再利用した路床盛土、伐根の緑化基盤材による緑化はいずれも良好な出来形となった。・有識者の指導により適切な保全措置などを実施することが出来た。・広報館の出展及び現場見学会・学習会の実施により、砂子沢ダムの環境配慮事業について広くPR出来た。 | | |

図面、写真、説明



図面、写真、説明

○建設副産物のリサイクル

伐根・枝葉をチップ化



堆肥化



緑化資材として再利用



脱水ケーキ



セメント系固化剤による改良



路床盛土として再利用



廃棄物抑制と資源節約を同時に実現!!

○動植物等の保全措置 ※トウホクサンショウウオ

工事区域内で卵を発見



卵の採集保護



繁殖しやすい箇所に移植



有識者の指導による適切な保全措置

○広報活動

地元小学校ダムの学習会



現場見学会の様子



『砂子沢ダム広報館』inアカシアまつり



環境配慮の取り組みをアピール!!